



創立150周年記念を祝いました 1月17日(金)

<午前の部> 記念行事「学ぼう 天気と防災」 司会進行

- 1 開式の言葉
- 2 講師紹介
- 3 記念行事 出前授業「お天気教室」
NHK ほっとぐんま 630 気象予報士様
- 4 質疑応答
- 5 お礼のことば
- 6 閉式の言葉

第1部は午前 NHK 前橋放送局の気象予報士を講師に迎え「学ぼう 天気と災害」と題した記念講演をおこないました。また、第2部は午後 記念式典を行いました。体育館には子供たちの素晴らしい歌声が響きました。

<午後の部> 豊受小学校創立150周年式典 司会進行

～オープニングセレモニー～ 豊受小金管クラブ

- 1 開式の言葉
- 2 校歌斉唱 指揮 伴奏
- 3 挨拶 校長
- 4 来賓祝辞 教育長
- 5 来賓紹介 PTA会長
- 6 防災学習発表

- 7 近年の豊受小学校のあゆみ
- 8 決意表明「受け継がれる精神」
代表児童
- 9 全員合唱「Believe」
指揮 伴奏
- 10 閉式の言葉



創立150周年記念式典 決意表明 「受け継がれる精神」 6年

「今年はメモリアルイヤー、豊受小学校ができて150年目の記念すべき年だよ。」
 4月、先生にこう言われて始まった小学校生活最後の1年。私は、何だか自分のバースデーが2回来るような、ちょっと得した気分を感じていました。それと同時に、「最上級生の名にふさわしい行動をとらなくてはならないな。」と、気が引きしめる思いもしていました。
 あの日から9ヶ月が過ぎ、卒業まで残り42日となった今日。お世話になっている地域の方々や先生方に見守られながら、この体育館で「豊小150歳の誕生日」をお祝いできることを心からうれしく思います。
 戦争や東日本大震災、コロナ感染拡大など、150年という長い年月の中には、大きな試練の年もありました。けれど、どんな困難にも負けることなく、150年間歩みを続けてきたこの「豊受小学校」を誇り(ほこり)に思います。その時代、時代をたくましく生き抜き卒業された先輩方への尊敬の気持ちは、大きくなるばかりです。
 私たちもその歴史の1ページとなると考えたとき、豊受小のよき伝統を引き継ぐことができているのか少し不安もありますが、私たちのよいところを3つ挙げてみます。
 まず一つめは、「毎日、元気よくあいさつできていること」です。にっこり笑顔で「おはよう。」と友達に言えた日は、心がすっきり明るくなります。少し眠くてもぱっと目が覚め、「今日も一日がんばろう。」と、やる気エネルギーがみなぎります。
 次に挙げるのは、「誰にでもやさしくできること」です。この学校には、様々な国にルーツをもつ友達がいいます。言葉の壁もいっしょに乗り越え、すぐとなりで寄りそってくれる、心の温かい友達がたくさんいます。そして、三つめは、授業や行事、掃除や遊びなど、「どんなこともみんな協力して取り組めること」です。授業中、難しい問題もみんなと頭をひねって一生懸命考えます。級友や先生と意見を交わすことはとても楽しいものです。みんなで考えると、新しいおどろきや発見があります。全校みんなで力を合わせてがんばった運動会は、大成功を収めました。協力できたことはたくさんありましたが、特に印象強く心に残っていることは、「ボランティア精神」が育っていると感じた場面です。秋、この学校にはたくさんの落ち葉が積もります。特に、東玄関前には毎朝、北風が運んできた落ち葉の山ができます。登校後、玄関のかぎが開くまでの数十分の間、1年生や3年生といっしょに落ち葉をはいて袋に入れ、ごみ置き場まで運んで片付けました。最初、手伝う人は3、4人でしたが、日を重ねるごとに多くの人がいっしょに落ち葉集めをしてくれるようになりました。私はその時、とても幸せな気持ちになりました。労務技士さんからも「ありがとう。」と言われ、うれしい気持ちでいっぱいになりました。こういうところがこの学校のよいところだなと思っています。
 これからこの学校に入学してくる下級生たちが、「私の学校大好き。」と言ってくれたら、とてもうれしいです。そのために私たちに何ができるのか分かりませんが、今できることをみんなといっしょに考え、行動していきます。

児童の活躍を紹介します

紹介したい活躍がありましたら学校にお知らせください。

| 大会等名称 | 種目 | 成績等 | 学年 | 名前等 |
|--------------------|------|-------------|----|-----|
| 第13回上毛新聞社杯ダンスコンテスト | 一般部門 | 第3位 PANDORA | 6年 | |

上毛ジュニア詩壇
令和七年一月日掲載

ドキドキ持久走 四年

前の日
ドキドキ
ドキドキ
朝起きて
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ
学校来てから
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ
スタート前に
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ

【評】前の日
から「ドキ
キ」してたの
に走り出し
たら「ドキ
キ」ドキドキ
がおさまっ
た。心は心
配性なのか
な・・・

上毛ジュニア詩壇 令和七年一月日掲載

いとこが沖繩へ 四年

わたしのいとこは女の子
もうすぐ沖繩に引っ越すよ
引っ越しちゃったらどうなるの？
私はいとこ会えないの？
そしたらママが教えたよ
引っ越しても年に一度は会えるから
私はとても悲しかった
けれど泣いたらそこでおしまい
私は笑顔で送るから
私はお姉さんなんだから

【評】「私
送るから」
はお顔で
私はお姉
さんなん
だから。
大好きな
従姉妹と
の長いお
別に必
死に耐え
ています。

上毛ジュニア俳壇 令和七年一月日掲載

風の音落葉巻き込みどこいくの 四年

【評】強い風の音に心をとめました。落ち葉をくるくると巻き込んで、風はどこかへ。行き先が気になってしまいます。

上毛ジュニア俳壇 令和七年一月日掲載

葉っぱもねしもにつつまれねているよ 四年

上毛子ども新聞 週刊風っ子 扉を開くページ 令和七年一月日掲載

私の夢 ドラフト1位でプロ野球選手 四年

僕の夢はプロ野球選手になることとプロ野球のドラフトで、1位指名されることだ。
野球をうまくやりたいと思います。プロ野球選手は、なぜうまいのか。疑問に思っ
て、お父さんに聞いてみました。「プロ野球選手は野球が好きだからだよ。それと努力
の積み重ね」と教えてくれました。
それからずっと努力してきました。そうしたらピッチャーが打って気持ち良かったです。
ホームランも1年間で5本打てました。努力の積み重ねが結果に出てきて、うれしか
ったです。
6年生になったら急速は110キロを目指し、1年間で20本のホームランを打ち
たいと思います。

上毛子ども新聞 週刊風っ子 扉を開くページ 令和七年一月日掲載

私の夢 金メダリストと消防士に 四年

僕の夢はオリンピックの空手に出場して金メダルを取ることと消防士になることだ。
オリンピックの金メダルは、東京オリンピックで喜友名諒選手が、金メダルを取っ
たのを見たからです。とてもカッコよかったので、オリンピックで優勝してみたいで
す。
だから今は県大会で優勝するために努力しています。でも、ちょっとした失敗で負
けてしまうので、どうしたら優勝できるか考えています。少しずつ努力を積み重ねて、
優勝したいと思っています。そしていつか、オリンピックで優勝したいと思いました。
消防士になりたい理由は、人を助ける仕事で、とてもカッコいいと思ったからです。
消防車について調べて、消防士になれるように頑張ります。

上毛子ども新聞 週刊風っ子 扉を開くページ 令和七年一月日掲載

私の夢 保育士になることを諦めない 四年

私の夢は保育士になることです。赤ちゃんや幼い子が好きで、ピアノも好きだからです。
小学1年生の頃は「お花屋さんになりたい」と思っていたけれど、2年生になってから、保
育士になりたいと思うようになりました。
もしかしたら、今年は夢が変わるかもしれないけど、保育士になりたい夢があるので、その
ためにピアノの練習などを頑張っています。
夢がずっと同じだった時は、すぐ諦めないように頑張ります。違う夢になっても、その夢を
諦めずに頑張りたいです。